## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月5日

上場会社名 サイバーコム株式会社 コ一ド番号3852 URL http：／／www．cy－com．co．jp代 表 者（役職名）代表取締役社長（氏名）渡辺 剛喜問合せ先責任者（役職名）常務取締役（氏名）佐藤 文昭四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日四半期決算補足説明資料作成の有無 ：無

四半期決算説明会開催の有無

配当支払開始予定日－

上場取引所 東
（TEL）（045）312－3271（代表）

1．平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）
（1）経営成績（累計）
（\％表示は，対前年同四半期増減率）

|  | 売 上 高 |  | 営業利益 |  | 経常利益 |  | 四半期純利益 |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ |
| 26年3月期第1四半期 | 1，786 | 7.0 | 137 | 34． 2 | 141 | 33.9 | 87 | 23.4 |
| 25年3月期第1四半期 | 1，669 | 4.8 | 102 | $\triangle 4.5$ | 105 | $\triangle 11.8$ | 71 | 1.4 |


|  | 1 株当たり四半期純利益 | $\begin{gathered} \text { 潜在株式調整後 } \\ 1 \text { 株当たり } \\ \text { 四半期純利益 } \end{gathered}$ |
| :---: | :---: | :---: |
|  | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期第1四半期 | 43． 82 | － |
| 25年3月期第1四半期 | 35.51 | － |

（2）財政状態

|  | 総 | 資 | 産 | 純 | 資 | 産 | 自己資本比率 |
| :--- | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- | :--- |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26年3月期第1四半期 |  |  | 5,459 |  |  | 3,130 | 57.3 |
| 25年3月期 |  |  | 5,235 |  |  | 3,098 | 59.2 |

（参考）自己資本 26年3月期第1四半期 3，130百万円 25年3月期 3，098百万円
2．配当の状況

|  | 年間配当金 |  |  |  |  |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 第1四半期末 | 第 2四半期末 | $\begin{gathered} \text { 第 3 } \\ \text { 四半期末 } \end{gathered}$ | 期 末 | 合 計 |
| 25年3月期 | 円 銭 $^{-}$ | $\begin{aligned} & \text { 円 鍺 } \\ & 0.00 \end{aligned}$ | 円 ${ }_{\text {銭 }}^{-}$ | $\begin{array}{r} \text { 円 鐡 } \\ 28.00 \end{array}$ | $\begin{array}{r} \text { 円 鐖 } \\ 28.00 \end{array}$ |
| 26年3月期 | － |  |  |  |  |
| 26年3月期（予想） |  | 0.00 | － | 35.00 | 35.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 ：無
3．平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

|  | 売 上 高 |  | 営業利益 |  | 経常利益 |  | 当期純利益 |  | $\begin{aligned} & 1 \text { 株当たり } \\ & \text { 当期純利益 } \end{aligned}$ |
| :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: | :---: |
|  | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ | 百万円 | \％ | 円 銭 |
| 第2四半期 | 3，650 | 5.0 | 200 | 13.2 | 205 | 12.5 | 119 | 34.6 | 59． 34 |
| 通 期 | 7，500 | 4． 7 | 450 | 19.3 | 460 | 12.4 | 295 | 21.7 | 147.10 |

[^0]（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
：無
（2）会計方針の変更•会計上の見積りの変更•修正再表示
（1）会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
（2）（1）以外の会計方針の変更
（3）会計上の見積りの変更
：無
無
（4）修正再表示
（3）発行済株式数（普通株式）
（1）期末発行済株式数（自己株式を含む）
（2）期末自己株式数
（3）期中平均株式数（四半期累計）

| 26年3月期 1 Q | 2，005，400株 | 25年3月期 | 2，005，400木株 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| 26年3月期 $1 Q_{\text {：}}$ | 73木株 | 25年3月期 | 73株 |
| 26年3月期 $1 Q^{\text {a }}$ | 2，005，327株 | 25年3月期 1 Q | 2，005，379株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信は，金融商品取引法に基づく四半期しビュー手続の対象外でありますが，この四半期決算短信の開示時点において，金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了して おります。
※ 業績予想の適切な利用に関する説明，その他特記事項
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は，当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており，当社としてその実現を約束する趣旨のものではありま せん。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

1．当四半期決算に関する定性的情報2
（1）経営成績に関する定性的情報 •••••••••••••2
（2）財政状態に関する定性的情報 •••••••••••••3
（3）業績予想に関する定性的情報 •••••••••••••3
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項••••••••••••3
3．継続企業の前提に関する重要事象等の概要•••••••••••3
4．四半期財務諸表
－••••••••••••4
（1）四半期貸借対照表
－•••••••••••• 4
（2）四半期損益計算書
5
【第1四半期累計期間】
（3）継続企業の前提に関する注記 •••••••••••••6
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記••••••6

1．当四半期決算に関する定性的情報
（1）経営成績に関する定性的情報
当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は，欧州の債務問題や米国財政問題等による海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとしてあるものの，東日本大震災以降の復興需要等の継続や，新政権による経済政策への期待感から，円安，株高が進行し，企業の景況感や消費者マイン ドは改善傾向にあり，回復基調で推移いたしました。

当業界においては，ソフトウェア開発における短納期化及び低コストの常態化が継続しておりま すが，スマートフォンやタブレット端末の継続的な市場規模の拡大に加え，それに伴うモバイルデ ータトラフィック～の対応や，社会インフラ，エネルギー等の成長分野における需要拡大，クラウ ド・コンピューティングの進展により，I T 投資需要は堅調に推移しております。

このような状況下，当社は業界のニーズに対応すべく今後の進展が見込まれる分野への案件獲得 に注力すると共に，リピートオーダーの確保や新規顧客の開拓に向け，積極的な受注活動を推し進 めてまいりました。特に受託開発においては，W字モデルの開発手法を取り入れた「当社標準開発 モデル」やソフトウェアの構造分析を行う「リバースエンジニアリングサービス」の活用等により品質の向上を図ると共に，OSSの活用や部品化の徹底，強化等により生産性向上を図ってまいり ました。また，S I サービス（構築•保守•運用サービス）や中小規模のコールセンターを高機能•低コスト・短納期で構築可能な「Cyber－S m a r t C T I 」を中心とするプロダクト等 の販売強化にも努めてまいりました。

さらに今後の顧客ニーズを見据え，ソフトウェア資産を有効活用し，安価•短期間•高品質に新 プラットフォーム～の移行を実現する「マイグレーションサービス」や，ソースコードを解析し， ソフトウェア開発•保守において，重要な資料となる設計書・ドキュメントを生成する「ドキュメ ント生成サービス」等の新サービスの立ち上げも積極的に行っております。

以上の結果，当事業年度における経営成績は，売上高 17 億 86 百万円（前年同期比 $7.0 \%$ 増），営業利益 1 億 37 百万円（前年同期比 $34.2 \%$ 増），経常利益 1 億 41 百万円（前年同期比 $33.9 \%$ 増），四半期純利益87百万円（前年同期比 $23.4 \%$ 増）となりました。

当第1四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。
（ソフトウェア開発事業）
当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業の売上高は 13 億 68 百万円（前年同期比 $4.4 \%$ 増），営業利益 2 億 8 百万円（前年同期比 $3.7 \%$ 増）となりました。

内訳として，通信ソフトウェア開発は，ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定•変更で きるS D N 関連のシステム開発案件，L T E 網や I P ネットワーク網を支える伝送装置，ネットワ ーク網監視システム，ルータ，スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発 は，車載システム，半導体制御装置，工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。 また，業務ソフトウェア開発は，電子カルテ等の医療系，ECサイト構築，エネルギー関連のシス テム開発案件等を受注いたしました。

## （サービス事業）

サービス事業の売上高は 4 億 17 百万円（前年同期比 $16.7 \%$ 増），営業利益 61 百万円（前年同期比 $24.5 \%$ 増）となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流，B C P（事業継続計画）対策 の需要拡大を受け，S I サービス（構築•保守•運用サービス）では，クラウド基盤の構築やデー タセンターの運用案件，基地局，ネットワーク網の設計•評価案件等を受注いたしました。さらに，
「Cyber－Smart C T I 」を中心とするプロダクト等の販売も拡大いたしました。
（2）財政状態に関する定性的情報 （資産）

当第 1 四半期会計期間末における資産は，前事業年度末に比べて 2 億 23 百万円増加（ $4.3 \%$ 増）し 54億59百万円となりました。その内訳は，流動資産が 2 億 32 百万円増加（ $5.2 \%$ 増）し47億 10 百万円 となり，固定資産が 9 百万円減少（ $1.2 \%$ 減）し 7 億 49 百万円となったことによるものであります。流動資産増加の主な要因は，短期貸付金の増加 3 億 2 百万円，現金及び預金の減少 90 百万円によ るものであります。
（負債）
当第1四半期会計期間末における負債は，前事業年度末に比べて 1 億 91 百万円増加（ $9.0 \%$ 増）し 23 億 28 百万円となりました。その内訳は，流動負債が 1 億 91 百万円増加（ $18.0 \%$ 増）し 12 億 54 百万円となったことによるものであります。

流動負債増加の主な要因は，未払費用の増加 4 億 89 百万円，賞与引当金の減少 2 億 84 百万円によ るものであります。

## （純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は，前事業年度末に比べて31百万円増加（1．0\％増）し31億30百万円となりました。
（3）業績予想に関する定性的情報
平成26年3月期の業績予想につきましては，平成25年5月8日発表の業績予想のとおり推移して おり変更ありません。

今後，何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項
該当事項はありません。

3．継続企業の前提に関する重要事象等の概要
該当事項はありません。

4．四半期財務諸表
（1）四半期貸借対照表
（単位：千円）

|  | 前事業年度 （平成25年3月31日） |  |
| :---: | :---: | :---: |
| 資産の部 |  |  |
| 流動資産 |  |  |
| 現金及び預金 | 1，020， 073 | 929， 685 |
| 受取手形及び売掛金 | 1，506， 744 | 1，439， 339 |
| 商品 | 4， 328 | 2， 438 |
| 仕掛品 | 72，553 | 104， 934 |
| 短期貸付金 | 1，602， 641 | 1，904， 877 |
| その他 | 279， 713 | 337， 379 |
| 貸倒引当金 | $\triangle 8,740$ | $\triangle 8,635$ |
| 流動資産合計 | 4，477， 316 | 4，710， 018 |
| 固定資産 |  |  |
| 有形固定資産 | 248， 206 | 246， 506 |
| 無形固定資産 | 32，998 | 25，565 |
| 投資その他の資産 | 477， 279 | 477， 074 |
| 固定資産合計 | 758， 484 | 749， 146 |
| 資産合計 | 5，235， 800 | 5，459， 165 |
| 負債の部 |  |  |
| 流動負債 |  |  |
| 買掛金 | 145， 522 | 137， 500 |
| 末扎費用 | 180， 032 | 669， 644 |
| 未払法人税等 | 102， 193 | 109， 991 |
| 賞与引当金 | 429， 677 | 144， 945 |
| 役員賞与引当金 | 20，991 | 4， 553 |
| 工事損失引当金 | 4， 178 | － |
| その他 | 180， 197 | 187， 570 |
| 流動負債合計 | 1，062， 792 | 1，254， 206 |
| 固定負債 |  |  |
| 退職給付引当金 | 1，046， 867 | 1，058， 837 |
| 役員退職慰労引当金 | 27，243 | 15，492 |
| 固定負債合計 | 1，074， 111 | 1，074， 329 |
| 負債合計 | 2，136， 903 | 2，328，536 |
| 純資産の部 |  |  |
| 株主資本 |  |  |
| 資本金 | 399， 562 | 399， 562 |
| 資本剰余金 | 307， 562 | 307， 562 |
| 利益剰余金 | 2，391， 829 | 2，423，562 |
| 自己株式 | $\triangle 58$ | $\triangle 58$ |
| 株主資本合計 | 3，098， 896 | 3，130，628 |
| 純資産合計 | 3，098， 896 | 3，130，628 |
| 負債純資産合計 | 5，235， 800 | 5，459， 165 |

（2）四半期損益計算書
【第1四半期累計期間】
（単位：千円）

|  | 前第1四半期累計期間 <br> （自 平成 24 年 4 月 1 日 <br> 至 平成24年6月30日） | $\begin{aligned} & \text { 当第 } 1 \text { 四半期累計期間 } \\ & \text { (自 平成25年4月14日 } 4 \text { 日月 } \\ & \text { 至 平 } 25 \text { 年 } 6 \text { 月 } 30 \text { ) } \end{aligned}$ |
| :---: | :---: | :---: |
| 売上高 | 1，669， 352 | 1，786， 321 |
| 売上原価 | 1，297， 436 | 1，387， 015 |
| 売上総利益 | 371， 915 | 399， 306 |
| 販売費及び一般管理費 | 269， 206 | 261， 518 |
| 営業利益 | 102， 708 | 137， 787 |
| 営業外収益 |  |  |
| 受取利息 | 2， 037 | 3， 093 |
| その他 | 1，220 | 978 |
| 営業外収益合計 | 3，258 | 4， 072 |
| 経常利益 | 105， 967 | 141， 860 |
| 特別損失 |  |  |
| 固定資産除却損 | 187 | － |
| 特別損失合計 | 187 | － |
| 税引前四半期純利益 | 105， 779 | 141， 860 |
| 法人税，住民税及び事業税 | 108， 075 | 107， 475 |
| 法人税等調整額 | $\triangle 73,509$ | $\triangle 53,497$ |
| 法人税等合計 | 34， 565 | 53， 978 |
| 四半期純利益 | 71，214 | 87， 881 |

（3）継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期累計期間（自 平成25年 4 月 1 日 至 平成 25 年 6 月 30 日）該当事項はありません。
（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 1 四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）該当事項はありません。


[^0]:    （注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ：無

